

マグネットシート工法 施工手順、施工上の注意 たて貼り

【施工上のメリット】 マグネットシートの吸着力を利用して貼り合わせるので貼り直しができます。現場で糊付けする手間が無くなり、両面テープやボンドで貼り合わせる場合と比べ施工時間が大幅に短縮できます。お客様ご自身でも施工することができます。

施工上の注意点にご留意の上、施工手順通りに施工してください

準備

作業に取り掛かる前に準備してください。(付属品) ホワイトテープ

- ▶位置決め時) ボールペン(鉛筆)・定規
- ▶貼り合わせ時) 下地専用マグネットシート(MG-52 裏のり付) ホワイトボードシート(FEW-1)
- ▶圧着時) スキーージ・ローラー・乾いた雑巾(布)

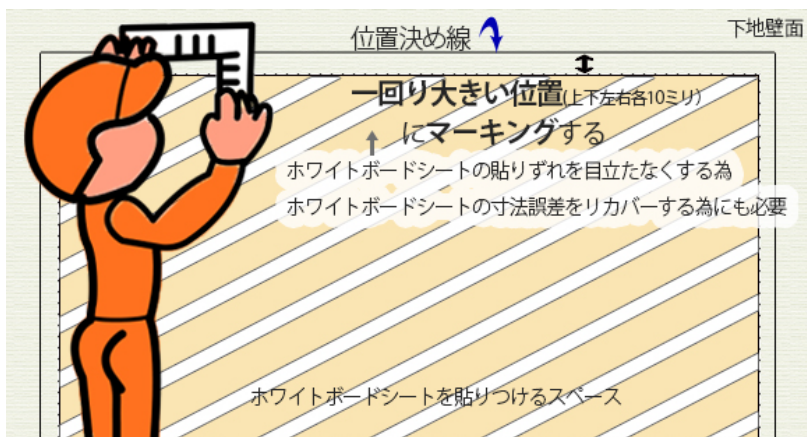


1 下地の不陸(下地の凸凹)を調整する

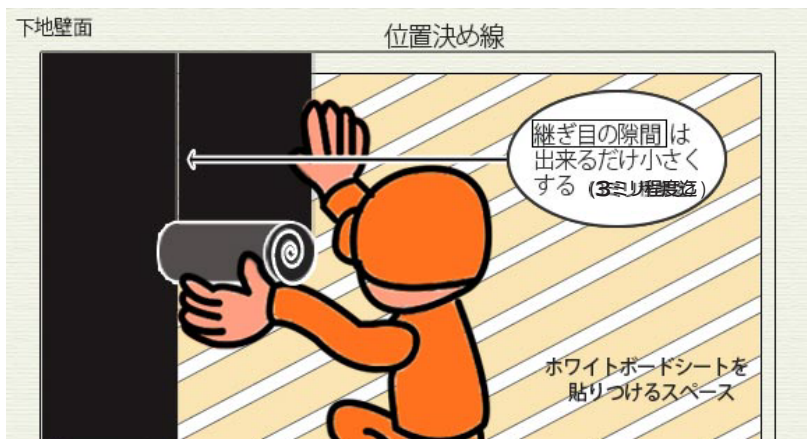
仕上がり面に影響が出ますので、凸凹を削ったり、パテ処理をして下地を平滑にしてください。下地から 釘の頭が出ている箇所は、下地面より沈めるように金づちで打ち込んでください。下地の継ぎ目も仕上がり面に出てしまいますのでパテ処理などで埋めてください。

2 ホワイトボードシートを貼りつける場所に位置決め線をマーキングする

実際の貼り付け位置より一回り大きくマーキングしてください。(上下左右各 10 ミリ)
ホワイトボードシートの貼りずれを目立たなくする為や寸法誤差をリカバーする為に必要です。



3 うすくて強力な専用マグネットシート (MG-52 裏のり付) を位置決め線にあわせて貼る



裏のり付の為、離けい紙をはがしながら、たて貼りで下地面と貼り合わせてください。

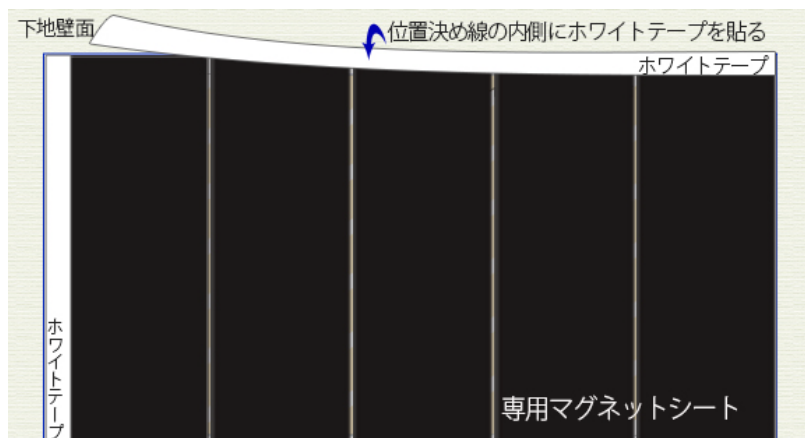


離けい紙を 1～3cm 折り曲げるか切り取って
位置合わせをしていただくと貼りやすくなります。

ローラーや乾いた雑巾などで圧着し、エアを押し出しながら貼ってください。
マグネットシートは重量があるので圧着時のエア抜きが比較的簡単です。
万が一、エアだまりが出来た時は小さな針穴を開けてエアを押し出してください。

- ・継ぎ目は重ならないようにすき間は出来るだけ小さくして下さい。(3ミリ程度まで)
継ぎ目のすき間が大きいと上からホワイトボードシートを貼った時に目立ってしまいます。

4 ホワイトテープ（付属品）を 位置決め線の周囲内側に貼る



ホワイトテープ（専用マグネットシートに付属、巾 15mm/長さ 650mm）を位置決め線の周囲内側、マグネットシートの上に貼ります。

- ※ホワイトテープを貼る事で上からホワイトボードシートを貼り合わせる際の貼りずれが目立たなくなります。
又、ホワイトテープ自体上から書き消しが出来るので、文字や線がテープの上に載っても消すことが出来ます。

5 ホワイトボードシートを上から貼り合わせる。

大きな面に貼る場合は必ず二人以上で貼り合わせてください。

2枚以上「たて貼り」される場合ジョイントは突き付けになります。ジョイント部のすき間が多少目立ちますのでご了承ください。



- ・位置決め線よりやや内側ホワイトテープに少し重なる感じでホワイトボードシートを貼り合わせてください。
施工面にまっすぐ貼れるように最初の位置決めは慎重に行ってください。
- ・端からエアを押し出すように貼って行ってください。下のマグネットシートの吸着力で自然に貼りついていきます。

- ・ 2枚以上「たて貼り」される場合、2枚目のシートは1枚目のたて方向に沿うようできるだけすき間があかないように突き付けジョイントしてください。
下地がマグネットシートの為、失敗しても貼り直しが可能です。ホワイトボードシートに折れジワやへこみキズがつかないように慎重に取り扱いながらジョイントしてください。
3枚目以降も同様の手順で貼り合わせてください。
- ・ 貼り終えた後、スキージー、ローラー、乾いた雑巾などを使って、ホワイトボードシートとマグネットシートが完全に吸着するように全面を圧着してください。
その折にホワイトボードシートの ずれや落下を防止するため、ホワイトボードシートと専用マグネットシートの上部を両面テープ又は、接着剤で貼り合わせてください。
- ・ 出隅・入隅の施工はできませんのでご了承ください。
- ・ ホワイトテープでカバーできない小口廻りの仕上げは同系色のジョイントコークで仕上げてください

※貼り合わせ時、巻き戻し時にホワイトボードシートに折れジワやへこみキズがつくと元に戻りませんので慎重に取り扱ってください。

※ホワイトボードシート、ホワイトテープは端部の硬質フィルム切り口で手を切る危険がありますので十分に注意してください

MEMO